

第6次発掘調査始まる



丹波竜化石第6次発掘工事が11月11日より重機を投入して始まりました。今回の工事は5次発掘までの調査場所から少し北側に離れた民有地の4平方メートルの範囲で行われるもので化石を含まない砂岩、礫岩を除去し、12月10日からボランティアも参加して化石包含層の調査を来年1月末までの予定で行います。丹波竜の未発見部位（頭骨や首、脚など）の発見に期待がかかる。同時に丹波竜以外の動植物化石発見にも夢が広がります。

平成23年11月25日

発行：上久下恐竜の里づくり協議会

かみくげ 恐竜の里新聞

第39号

上久下
地域づくり
センター
0795 78 0001

地区文化祭開かれる

第37回上久下地区文化祭が11月3日、秋晴れの下で賑やかに開催されました。1階展示会場には陶芸、盆栽、写真展、2階では小学校の児童作品展、多目的ルームでは書道展、句集展ほか個人・団体の作品展などが並び、地域の皆さんはそれぞれ熱心に見学していました。

会場周辺では各種バザー店がテントをならべ、食べ物や飲み物を提供したり、物品販売したりしていました。

特設舞台ではコーラスグループ「さくらんぼ」の歌声に加え、今回初めて地区文化祭に参加した春日町のグループ、若竹会による南京玉すだれの芸や、篠山市から参加出演の福祉漫才「まるちぐず」のお笑いに会場内は笑いと歓声に包まれていました。

ちーたんの館1周年
記念イベント開催される

11月19日、丹波竜化石工房「ちーたんの館」開設1周年を記念して多彩なイベントが山南支所周辺ややまなみホールを使って賑やかに開催されました。朝から大雨の悪天候にも関わらず、阪神間からの団体客（バス10台、400人）らも参加して恐竜との出会いをテーマにしたシンポジウムやスクリーンから恐竜が飛び出す3D映画の上映や広場では10数店舗が食べ物や特産品の販売を行っていました。

元氣村かみくげからは恐竜焼きと化石発掘体験に加えて、初めての出店となったイタリア風味の「カルツォーネ」や

最後に恒例の餅まきで里の皆さんの和と健康を祈念して幕を下ろしました。写真は南京玉すだれと篠場自治会の陶芸展で自作品を紹介する小学校児童。



「ちーたん弁当」を販売しました。特に、ちーたん弁当は準備した50食は団体客からの予約20食も含め、開店後1時間もしないうちに完売し、販売を担当した県立大学生たちも胸をなでおろしていました。

かどのの郷で研修会

地域づくり計画策定委員会（委員17名）は11月6日（日）、氷上町葛野の「かどのの郷」で視察研修会を開催しました。コスモス祭り、カタクリ祭りなど地域資源を活かしたまちづくりや貸し農園、シイタケ栽培のオーナー制など新たな発想での取り組みも見学。地域づくり計画策定委員会ではこれまで4回の会合を開き、上久下地域の課題についての意見が多く出され、10項目の課題にまとめました。10項目の大きな課題を解決しながら将来はこんな地域にしたいという思いをこめて将来像（キャッチフレーズ）を『太古のロマンと未来に夢広がるかみくげの郷』と決めてより具体的に進めていきます。地域づくり活動へのみなさんの忌憚（きたん）のない意見を寄せください。（柳川瀬義輝）

- ① 恐竜化石を活かしたまちづくり推進
- ② 高齢者や子どもたちが安心してみ続けられる地域づくり
- ③ 地域の伝統文化の継承と新たな化の育み
- ④ 医療、介護、福祉の充実したまちづくり
- ⑤ 人々の健康づくりと安全・安心地域づくり



ちーたん弁当試作品が完成

谷川駅前に山南スタジオを置く兵庫県立大学と元氣村かみくげとが共同で開発した「ちーたん弁当」の試作品が完成しました。「ちーたん弁当・丹波竜のおくりもの」と名付けた弁当は、丹波竜化石が見つかった篠山層群の地層をイメージしたごはん、恐竜が鳥の祖先だったことから、とり肉と玉子いり、植物食恐竜だったことから季節風味の地元食材をたっぷり盛り付けています。

弁当の包み紙は、こども絵本「丹波竜のおくりもの」の表紙ページのさし絵（むらかみ ゆきこさん絵）を使用し、「この弁当は丹波竜からのおくりものです」と愛らしく解説しています。ちーたん弁当の初デビューは11月19日（土）ちーたんの館の1周年記念イベントに50食を作り、一食700円で市内外からの参加者に味わってもらい、好評を博しました。今後団体予約を受けて継続して販売する予定です。制作に携わった学生は「私たちの提案が受け入れられて、実現に至ったことをうれしく思う。地域へ少しでも貢献できたことがうれしい」。また、元氣村では「この弁当を地域の皆さん、特に、独居高齢者にも利用してもらえるように工夫してみたい」と話していました。



恐竜ミニメントに電飾

かみくげ恐竜の里づくり協議会では発掘現場近くの丹波竜木製ミニメントに電飾を取り付けることにし、12月1日に点灯式を行います。今年8月の5周年記念イベントの際に全身をピンク系のペイントでより目立つようにしましたが、夜にも電車や車からも「国内最大級の恐竜」を楽しんでもらうために期間限定（12月から翌2月まで）でミニメント外周（約50m）に夜間点灯することにしました。「丹波竜にも電飾を！」と以前からも計画していましたが、谷川駅近くの大谷自治会が数年前から河川敷きに子どもたちと協働して制作した3体の「丹波竜」に今年も電飾をして「久下谷（上久下く久下）」地域と丹波竜をPRしていることに上久下地区も歩調を合わせたものです。

11月末に里づくり協議会メンバーで取り付け、12月1日の夕刻に関係者で点灯開始することになっています。12月10日から始まる第6次調査の安全と成功を祈ってくれることでしょうか。

地域づくりセンター窓ふき作業に上久下ボランティアグループ



11月16日、上久下ボランティアグループのメンバー男女20人は地域づくりセンター全館の窓ふき作業を行いました。センターは毎月2回、各部落・自治会による部屋、廊下の清掃奉仕を行っています。窓ふきまではなかなか手が回らなかったところ、ボランティアグループの皆さんの熱心な清掃活動のおかげできれいになりました。センターが改めて地域みなさんに支えられて維持、管理されていることを実感するグループ活動に感謝しています。（センター事務局）

12月の予定

- ◆ 12月1日（火）恐竜ミニメント点灯式 設置場所 17:00～
- ◆ 12月3日（土）里づくり協議会例会 元氣村かみくげ 18:30～